

そらこめ通信 No.42 2014.01発行

2014年(午年)が明けました。昨年は皆様方に大変お世話になり、ありがとうございました。本年も昨年同様よろしくお願いいたします。

さて、ここ沼田町においては例年に比べてやや雪が少なく、比較的過ごしやすい年末年始になりました。この後、ドサッと大雪が来ることも十分考えられますが、今のところつつがなく経過しております。私共は冬の間はあちらこちらのセミナーや講習会などに参加し、農業関連の情報収集に努めつつ精米作業に励むのが例年の習わしになっています。また、その合間を縫って、もみ殻をくん炭にする作業や、ハウス周辺の除雪作業など春の作付けに向けての準備も並行して行っています。次期の営農計画などもこの間に終えなくてはならず、体よりは頭を使う機会が多い期間でもあるわけです。

写真にもありますが、12月に二つのセミナーや情報交換会に参加しました。ひとつは、拓殖大学北海道短期大学で開催された農業セミナー。ここでは、3名の講師の方々のお話に加えて、この大学で育成された黒米新品種「芽生さくらむらさき」の種子販売についてのプレス発表が行われました。発表のあと記者たちに囲まれていた石村名誉教授。彼女が発見・育成に深く携わり、彼女の名前の櫻(さくら)が命名された種子でもあります。あとひとつは、水稻直播に関する情報交換会。直播による栽培は育苗ハウスが不要なこと、育苗の手間が省けること等から水稻生産に掛かるコスト縮減に効果があるということで、情報交換会は大盛況でした。ただ、出来上がったコメの品質に関する情報がないこと等、どうも弊社とは方向性が合わないようで…。今後も様々な勉強会に参加したいと考えていますが、目線はあくまでもお客さんに向いているべきで、その方向性を見失わないように今年も励みたいと考えております。



拓殖大学北海道短期大学において農業セミナーが開催されました(12月4日)



大学のOBでもある木村社長も参加



セミナーの講師の一人、谷口農場の谷口さん(左)とパネルディスカッションのようす(中)、さらに学生による質疑応答(右)



セミナーの合間、本学で育成されたうるち種「芽生さくらむらさき」の種子販売についてプレス発表する石村名誉教授(左右)



空知地区水稻直播情報交換会(左)と佐藤会長さんの挨拶(中)(12月20日)



パネルディスカッションのようす



除雪ロータリー購入(12月21日)



もみ殻くん炭の製造(12月21日)



出来上がったくん炭



春の育苗に使うために袋詰めする作業(左)とストックされたくん炭(中)



煙が上がるくん炭小屋(12月21日)



新年を迎えた社屋のようす(平成26年1月4日撮影)



社屋の中のようす(1月4日)

年末年始にかけて吹雪くなど多少荒れた天気になりましたが、今のところ雪は少なめ。1月4日になり、ようやく青空が広がり気持ちの良い天気になりました。ここに来て、とても穏やかな新年を迎えることが出来てホッとしております。中央における農業政策が揺れ動く中、先の見通しが今ひとつ立ちづらい昨今ですが、美味しいお米を生産し適正な価格で皆様のお手元にお届けするという基本に立ち返って一年間頑張る所存です。

これからも安全で美味しいお米の生産に努めますので、引き続きご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

インターネットで美味しいお米!

(株)空知こめ工房 ホームページ
<http://www.sorachi-kome.jp/>
 ブログ「生産日誌」更新中です